

神戈陵を渡る風3

令和5年度 川辺高校 校長通信 第102号(通算)

令和5年5月12日(金)発行

明後日の5月14日は、母の日です。日頃なかなか口に出して言えていない感謝の言葉をお母さんにぜひ伝えて下さい。

さて、来週からは中間考査です。一年生は、今回は科目数が少ないですが、高校での初めての定期テスト。日頃の授業の受け方が試されるテストです。点数の高い低いだけに一喜一憂するのではなく、学習した教科の内容をきちんと理解しているかが大切です。テストに向けた対策が重要なのです。



地区大会の様子

令和5年5月9日(火)・10日(水)

残念ながら、全てのチームを紹介できていません。後はブログを期待しましょう。



知覧平和公園弓道場



加世田運動公園体育館



知覧テニスの森

季節の彩り・風景

【麦秋】 秋と名がつくけど秋じゃない



麦が実る、この季節(5月~6月)のこと

【そばの花】



川辺は、そばの名産地

【枇杷の実】



日に日に枇杷の実が大きくなり、山吹色に色づいてきます。熟れると美味しいのを知ってるクラスが狙っています。

連休明けに化学室横の実を食べられました

五月のいろ

ふじむらさき
藤紫



藤紫 (ふじむらさき)

うっとりするような艶やかな紫色に思わず心がときめきます。化学染料が登場した明治時代、その染料で染めた鮮やかな紫色に「藤紫」の色名が使われるようになりました。明治文化を代表する色で、美人画の画家が好んで用いました。

うのはないろ
卯の花色



卯の花色 (うのはないろ)

卯の花は、初夏に小さな白い花を咲かせる空木(うつぎ)の別名です。その花のあまりの白さから、平安時代には「雪かたまごう」と表現されたほどでした。その卯の花のような、ほのかに黄色っぽい色合いが心を落ち着かせてくれますね。

やなぎすすたけ
柳煤竹



柳煤竹 (やなぎすすたけ)

深く暗い黄緑色の落ち着いた雰囲気と渋さが絶妙です。江戸時代の元禄期に生み出された人気の色でした。煤竹色(すすたけいろ)のバリエーションの一つです。鮮やかな紅色を引き立てるアクセントカラーとして、とても重宝されました。

こんじょういろ
紺青色



紺青色 (こんじょういろ)

やや紺色よりの紫がかった青色には、深い海のような神秘的な魅力があります。平安時代に中国から輸入した藍銅鉞(らんどうこう/アズライト)から生成された顔料の中でも、特に色が濃く結晶した紫みの強い青色を紺青色と呼びました。

暦生活というWebページの中の「にっぽんのいろ」から紹介。(写真は校長撮影)